

2014 年度秋学期 貴重書・特別資料展示

—獨協大学創立 50 周年記念展示—

天野貞祐と獨協大学図書館



旧図書館と天野貞祐記念館
(右上) (左下)

獨協大学図書館 2階 貴重書・特別資料展示コーナー

2014 年 10 月 22 日 (水) ~ 11 月 8 日 (土)

【はじめに】

獨協大学は、2014年10月22日をもちまして創立50周年を迎えます。

開学当時の図書館資料の充実には、天野 貞祐 初代学長の多大なるご尽力があり、当時天野先生から寄贈された資料は今でも図書館に所蔵され、多くの方に利用されています。

今回、創立50周年を記念し、本学図書館の貴重書に認定されている、天野先生翻訳の「純粹理性批判」と、イマヌエル・カントの原書、その他関連する資料を展示いたします。



初代学長 天野 貞祐

【天野貞祐と獨協大学図書館】

獨協大学図書館は、開学時には旧事務局棟の1・2階に開設され、開学から4年後の1968（昭和43）年に独立棟として5棟南側に開館しました。

蔵書の中には天野先生が所有されていた図書約3,200冊が含まれていますが、これは当時、大学の創設には規定数以上の蔵書をもつ図書館の設置が条件のひとつになっており、それを満たすために天野先生自ら寄贈されたものです。冊数があまりにも多かったため、大学設置準備委員の一人が三日間をかけて天野家から運んだというエピソードも残されています。

2007（平成19）年には天野貞祐記念館内に新図書館が開館し、現在90万冊を超える図書と約3,500タイトルの和洋雑誌、総延面積11,555㎡の中に1,130席の閲覧席と144台のPC、6つの共同学習スペース、100万冊収蔵可能な自動書庫を備える、教育研究支援の拠点になっています。

また、学生、教職員、獨協大学父母の会会員はもとより、オープンカレッジ受講生や草加市近隣の住民、高校生など学外の方々にも広く開放されています。

【天野貞祐と「純粹理性批判」】

「純粹理性批判」は、ドイツの哲学者イマヌエル・カントが57歳であった1781年の著作で、人間の理性が担う問題や、真理の認識について論じられています。また、1788年出版の「実践理性批判」（第二批判）、1790年出版の「判断力批判」（第三批判）とならんで、カントの三大批判と呼ばれています。本学図書館ではこれらの初版本を所蔵しています。

天野貞祐は、この「純粹理性批判」を日本語に初めて翻訳した人物として知られていますが、蝦名賢造著「天野貞祐伝」によれば、鹿児島県の旧制第七高等学校でドイツ語の授業を担当するかわら、岩波書店からカント全集の出版の話を受けて、翻訳にとりかかったということです。翻訳の作業は、47歳のとき、開始から実に17年後の1930（昭和5）年に完了したとされていますが、「三十歳から六十歳にいたるまで全力をささげた」という言葉も残っていますので、その後も推敲を重ねていたと考えられます。その様子は、「純粹理性批判」翻訳本への加筆にも見ることができます。

翻訳本は戦後長らく絶版になっていましたが、1979（昭和54）年に講談社学術文庫から新訳版が刊行されました。そのまえがきには、次のような言葉が残されており、「純粹理性批判」への情熱を感じることができます。

「この翻訳の文庫版が、絶版になることは、私の全生涯の仕事が葬られたも同然であると感じて、それ以来深い哀愁を覚えていた。文庫版で新訳を作る計画は、私個人の大きな喜びであるだけでなく、広くわが国の思想界一般の慶事であると思う。」

【「獨協関連資料コーナー」について】

図書館 1 階の「獨協関連資料コーナー」には、「獨協百年」、「目で見る獨協百年」、「獨協学園史」といった学園関連資料や、獨協大学発行の紀要、天野先生の著作である「道理の感覚」、「学生に与うる書」、「純粹理性批判（翻訳）」などの図書をそろえています。

【展示資料】

獨協大学図書館 貴重書・特別資料

純粹理性批判 上巻 / カント[著]；天野貞祐訳

東京：岩波書店，1921

資料 ID 395249488 ※第 1 加筆

Critik der reinen Vernunft / von Immanuel Kant

Riga : Verlegts Johann Friedrich Hartknoch , 1781

資料 ID 197102552

天野貞祐自筆色紙

墨書「日日新生」

資料 ID 396042666

武蔵野：天野貞祐草稿 / [天野貞祐著]

1954.3

資料 ID 199485424 ※貴重書・特別資料候補

獨協関連資料

純粹理性批判（一） / イマヌエル・カント著；天野貞祐訳

東京：講談社，1979.7

資料 ID 180457993 請求番号 081-Ko19-404

天野貞祐講話集 / [天野貞祐著]；天野貞祐記念室編集

草加：獨協大学，1994.10

資料 ID 398144784 ほか 請求番号 040-A43a



獨協関連資料コーナー

【獨協大学図書館 沿革】

1964年	9月	開館（元事務局棟1・2階内）
1968年	9月	図書館開館（独立棟として）
1980年	10月	B書庫増設
1982年	4月	開館時間延長（9:00～18:30＝従来より30分延長）
1983年	10月	レコード聴取室を視聴覚室（AV Library）と改称
1986年	7月	夏季休業期間中の開館時間延長（9:00～15:00）
1989年	7月	図書館システムDOBIS/E 正式導入 図書館簡易データロード（7月13日～9月5日）
	8月	館内改造（開架書増設、雑誌室・参考図書室移設、インフォメーションカウンター・BDS設置、閲覧参考事務室移転、アスベスト除去）
1990年	1月	学術情報センターと接続
	5月	蔵書目録情報遡及入力開始（5ヶ年計画）
	6月	館内に利用者用検索端末設置 新規図書データ入力開始
1993年	3月	ブラウジング・閲覧室増設
1994年	4月	開館時間延長（平日9:00～20:00、土曜：9:00～18:00）
1998年	1月	図書館ホームページ公開
		新システムCILIUS運用開始
	11月	学内外にWEBOPAC公開 外国語教育研究所AVライブラリ資料データ登録開始
2000年	7月	試験期間中の日曜開館開始
	9月	開館時間延長（平日9:00～22:00、土曜9:00～18:00）
2001年	3月	図書館システム NeoCILIUS 運用開始
2004年	4月	平日8:45～施設一部開放 法科大学院図書資料室分館運用開始
	4月	開館時間延長（平日8:45～22:00、土曜8:45～20:00）
2005年	12月	草加市立中央図書館紹介状による図書館利用の開始
	4月	図書館システムNeoCILIUS OPACII 導入
2007年	7月	新館開館に伴う利用規則等関連規程の改正 25日 旧図書館閉館 資料移転のため休館 7/25～9/17
	9月	18日 新図書館開館 21日 新図書館開館記念式典
	4月	オンラインレファレンスサービス開始
2008年	11月	獨協クラス生徒および「獨協大学父母の会」会員による図書館利用の開始
	4月	自動書庫増設（4号機）
2009年	12月	携帯電話通話可能エリア設置
	1月	「語学検定コーナー」「NHK語学テキストコーナー」を新設
2010年	8月	夏休み中の高校生への図書館開放を開始
	9月	1階PC設置席へのPC増設（114台→132台）
2011年	2月	予約上限数の変更（3件→5件） 2月・3月の開館時間延長（16時45分→18時）
	3月	3月の高校生への図書館開放を開始 OPAC（MyLibrary）から資料の貸出延長開始 東日本大震災に伴う臨時閉館（3/12～4/3）
	4月	東日本大震災に伴う時間短縮閉館（4/4～4/30） PC設置席（132台→144台）と3階発話トレーニングブースのPC入替
	5月	図書館の節電対策実施
	7月	図書館内の水分補給エリア拡大
	8月	夏休み中の開館時間延長（18時→20時）
	11月	ポータルサイトとMyLibraryの連携を開始
	2月	2月・3月の開館時間延長（18時→20時）
2012年	3月	自動書庫増設（5・6号機） 館内プリンタの入替